

## 評価細目の第三者評価結果

### 1 共通項目

#### 評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

##### I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。		第三者評価結果
	I-1-(1)-① 理念が明文化されている。	Ⓐ・B・C
	I-1-(1)-② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法人の理念は、「子どもの最善の利益を考慮するとともに、児童福祉法、児童憲章に基づいた保育を行い、子ども一人ひとりを大切に、その成長発達を願う。」「いつも明るい未来を見据える法人となるために、福祉サービスの向上を図る。」「地域のニーズ及び保護者の実情を把握し、就労支援及び地域の子育て支援などを行う。」と定められている。</li> <li>・理念に基づく基本方針は、「素直で元気な子を育てること。」「明るく元気に、のびのびと遊べる環境づくりを心がけること。」「地域の実情を把握し、子育て中の保護者に利用しやすい保育サービスを提供すること。」とし、明文化している。</li> </ul>		
改善できる点/改善方法：		
I-1-(2) 理念や基本方針が周知されている。		
	I-1-(2)-① 理念や基本方針が職員に周知されている。	Ⓐ・B・C
	I-1-(2)-② 理念に基本方針が利用者等に周知されている。	A・Ⓑ・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理念・基本方針・保育目標は、明文化され職員に配布されている。年度当初の職員会議で、読み合わせを行い確認をしている。また、月案・週案の立案時にも、常時確認されている。</li> <li>・保護者への周知については、玄関・各保育室に掲示するとともに、園だより（「てつなぎ」）やクラスだよりへの掲載、入園時に配布するパンフレット「保育園生活について」を作成し、入園時に配布して周知を図っている。ホームページは毎月更新され、広報活動は積極的である。</li> </ul>		
改善できる点/改善方法：		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者への「園だより」などに、理念・基本方針を説明した特集を組むなど、利用者等への周知度を高めるための更なる取り組みが期待される。</li> </ul>		

##### I-2 事業計画の策定

I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者評価結果
	I-2-(1)-① 中・長期計画が策定されている。	Ⓐ・B・C

	I-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	A・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>法人の理念に基づき、平成28年度から30年度にかけての中・長期計画が策定されている。計画は、①継続して実施する項目 ②職員の意識改革を行うこと ③予算化に伴うことの3項目で構成されている。</li> <li>継続して実施する項目では、①異年齢児交流を計画的に実施し、豊かな人間形成の基礎作り ②基礎的な運動を取り入れた遊びを通し、一人ひとりの発達に合わせた体づくり ③園庭開放や地域の子育て支援を通じて、地域と交流を図っていくこと ④ホームページを活用した情報提供を掲げている。</li> <li>職員の意識改革に関する項目では、①計画的に研修を受講することによって、職員の資質の向上を図ること ②計画に基づいた食育計画を推進し、保護者に対しても理解を高めること ③各種マニュアルの見直しを行い、職員に周知徹底することを掲げている。</li> <li>予算面では、①施設設備の充実で、幼児用トイレの改修、保育室の改修 ②災害に備えての食料、備品などの備蓄とリストの作成を掲げている。</li> <li>中・長期計画を踏まえた事業計画では、①園環境の整備 ②防災計画 ③本年度事業計画の3項目で構成されている。園環境の整備では、①生活指導 ②給食 ③衛生管理 ④健康管理とし、それぞれ具体的な目標を定めている。</li> <li>防災計画では、園長が総指揮をする防災体制を定め、毎月1回以上の避難訓練の実施、保護者への連絡体制の整備を掲げている。</li> <li>今年度事業計画では、異年齢児交流の実施、基礎的な運動を取り入れた遊びの実施、食育計画の推進、園庭開放など、地域との交流、ホームページを活用した情報提供、研修への積極的な参加、マニュアルの見直しを掲げている。</li> </ul>		
改善できる点／改善方法：		
I-2-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
	I-2-(2)-① 事業計画の策定が組織的に行われている。	A・B・C
	I-2-(2)-② 事業計画が職員に周知されている。	A・B・C
	I-2-(2)-③ 事業計画が利用者等に周知されている。	A・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業計画は、年度初めに前年度の反省、保護者の行事などに寄せられたアンケートによる意見を参考に計画し、職員会議で検討し策定されている。事業計画は全職員に配布され、職員会議で周知・検討が図られている。</li> <li>保護者には、毎年配布されるパンフレット「保育園生活について」に掲載し、入園式後に保護者への説明会が実施されている。</li> </ul>		
改善できる点／改善方法：		

### I-3 管理者の責任とリーダーシップ

I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	第三者評価結果
I-3-(1)-①管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	A・B・C

	I-3-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	㊤・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>園長の運営管理全般についての役割と責任を職務分担表で明文化するとともに、職員会議やその他の機会を捉えて表明している。</li> <li>管理者の研修に積極的に参加し、法令集のリスト化を行い、遵守すべき法令の理解に努めている。</li> </ul> <p>改善できる点/改善方法：</p>		
I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
	I-3-(2)-① 質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	㊤・B・C
	I-3-(2)-② 経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	㊤・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>毎月提出される月案・週日誌を通して、各クラスの評価分析を行い、指導助言をしている。保育の質の向上のために、職員には研修の参加を積極的に呼びかけている。</li> <li>業務の効率化に向け、職員の意向やニーズを把握し、働きやすい職場環境の構築に努めている。</li> </ul> <p>改善できる点/改善方法：</p>		

## 評価対象Ⅱ 組織の運営管理

### Ⅱ-1 経営状況の把握

Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		第三者評価結果
	Ⅱ-1-(1)-① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	A・㊤・C
	Ⅱ-1-(1)-② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	㊤・B・C
	Ⅱ-1-(1)-③ 外部監査が実施されている。	㊤・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保育事業全体の動向については、月刊誌「ぜんほきょう」「保育の友」や園長研修、その他の研修を通して、その概要を把握している。</li> <li>現在、改善すべき大きな課題は見当たらないが、職員会議、ケース会議等で各種行事の反省・検討を行い、次の行事計画に反映するように努めている。職員会議は月1回以上開催し、出欠状況を明示するとともに、欠席者には会議録を回覧・押印して、意思の疎通が図られている。</li> </ul>		

<ul style="list-style-type: none"> <li>・会計事務所の指導の下、姉妹園と連携して定期的に経営状況を分析し、物品購入など経費の削減が図られている。岐阜市福祉部の指導監査も定期的に受けている。</li> </ul>
<p>改善できる点／改善方法：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の年齢別構成、子どもの数の推移・増減、福祉サービス全体に対するニーズなど、保育需要に関する動向、情報・データを具体的に収集されることが期待される。</li> </ul>

## Ⅱ－２ 人材の確保・養成

Ⅱ－２－（１） 人事管理の体制が整備されている。		第三者評価結果
	Ⅱ－２－（１）－① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A・B・C
	Ⅱ－２－（１）－② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	A・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士19名（正規10、非常勤4、パート5）の人員体制で、児童福祉施設最低基準第33条に定める「保育士の配置基準」が満たされている。</li> <li>・人事考課制度は設けられていないが、5月と2月の2回、自己評価表と職員状況調査記録による園長との個別面談が定期的に行われ、職員の意向調査が行われている。</li> </ul>		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士の離職率がやや高いように思われる。保護者らが安心して子どもを預けることができるよう、その改善策を講じるとともに、ゆとりを持った人事管理が行われることが望まれる。</li> </ul>		
Ⅱ－２－（２） 職員の就業状況に配慮がなされている。		
	Ⅱ－２－（２）－① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A・B・C
	Ⅱ－２－（２）－② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	A・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の休暇、休日は、「年次休暇」「振替休暇」「指定休」に区分けして就業状況の管理が行われている。また、有給休暇、超過勤務時間のデータ、就業状況が確実に記録され、職員の希望に沿って休暇が取得できるよう配慮されている。</li> <li>・職員の休憩室が設けられ、エアコン・冷蔵庫などが完備されている。また、職員の福利厚生、健康管理、リフレッシュなどの生活サポートをする「福利厚生センター」に加入するなど、魅力ある職場とするための取組みがなされている。</li> </ul>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅱ－２－（３） 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
	Ⅱ－２－（３）－① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A・B・C

	Ⅱ-2-(3)-② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	㊤・B・C
	Ⅱ-2-(3)-③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	㊤・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度事業計画では、「研修への積極的な参加」が謳われている。岐阜県社会福祉協議会・教育委員会の主催する保育スキルアップ研修、食育に関する研修、運動遊び研修、岐阜市保育協会が主催する0歳児から年長児での保育士研修、岐阜市子ども保育課が主催する初任研修・中堅学習会等の研修に、職員を計画的・積極的に参加させている。</li> <li>研修結果を、職員間で学び合う共有の場が設けられ、保育の質の向上に繋げている。また、研修レポートを提出させているほか、職員会議で伝達し、研修成果が評価・分析できる場が設けられている。</li> </ul>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-2-(4) 実習生の受入れが適切に行われている。	第三者評価結果	
	Ⅱ-2-(4)-① 実習生の受入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組をしている。	㊤・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度は、岐阜・愛知県内の短期大学、専門学校の幼児教育学科の学生6名を実習生として受け入れている。受け入れに関する意義・方針などを明文化したマニュアルが整備されている。</li> <li>事前のオリエンテーションを行い、実習生の意向を聞きながら、目標を持って実習に取り組めるようにしている。実習後には、カンファレンスを行っている。</li> </ul>		
改善できる点／改善方法：		

### Ⅱ-3 安全管理

Ⅱ-3-(1) 利用者の安全を確保するための取組が行われている。	第三者評価結果	
	Ⅱ-3-(1)-① 緊急時（事故、感染症の発生時など）における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	㊤・B・C
	Ⅱ-3-(1)-② 災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	㊤・B・C
	Ⅱ-3-(1)-③ 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	㊤・B・C

<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不審者対応マニュアル・連れ去り防止対応マニュアル・感染症対応マニュアルなどの安全管理マニュアルが整備され、保護者が安心して子どもを預けられる環境づくりが図られている。</li> <li>・“小さな事故を未然に防ぐ”“子どもの目線で見える”ことを合言葉にして、安全管理に関する組織体制が整備されている。</li> <li>・火災・台風・地震などを想定した災害時対応マニュアルが整備されているとともに、毎月1回定期的に訓練が実施されるなど、安全管理のための取組みが積極的になされている。</li> <li>・遊具安全点検簿、プール日誌・点検簿、事故リスク軽減のためのチェックリスト、ヒヤリハット集などを活用し、施設全般についての日常点検が行われ、安全確保が適切に行われている。</li> </ul> <p>改善できる点／改善方法：</p>
--

## Ⅱ－４ 地域との交流と連携

Ⅱ－４－（１） 地域との関係が適切に確保されている。		第三者評価結果
	Ⅱ－４－（１）－① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－４－（１）－② 事業所が有する機能を地域に還元している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－４－（１）－③ ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本荘校区の子ども会育成連絡会、青少年育成市民会議・スポーツ少年団・老人クラブなどで組織する「本荘大家族ふれあい広場」の参加、自治連合会の「本荘まちづくり協議会」の参加、民生児童委員の協力による春秋の花壇植栽など、地域との関わりを大切にしている。また、中・高生の保育体験も受け入れている。</li> <li>・毎週火・水曜日の2回、園庭開放するとともに、来園者の育児相談を実施している。</li> <li>・ふれあい動物園・運動会・祖父母参観など保育園が開催する行事について、地域の各種団体に参加を呼掛け、子育て支援活動に関する情報を地域に提供している。</li> <li>・インターネットのホームページは、読みやすく、随時、データが更新されるなど、保護者とのコミュニケーションを積極的にとれるよう配慮されている。ボランティア受け入れマニュアルが整備されている。</li> </ul> <p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅱ－４－（２） 関係機関との連携が確保されている。		
	Ⅱ－４－（２）－① 必要な社会資源を明確にしている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－４－（２）－② 関係機関との連携が適切に行われている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども保育の様々な場面に对应できるよう、本荘小学校、岐阜市役所子ども保育課・子ども支援課、岐阜市子ども若者総合支援センター（「エールぎふ」）などのリストを作成し、職員間での情報の共有化が図られている。</li> <li>・本荘・三里・市橋・鏡島の4地区の保育園・保育所長、民生児童委員、エール岐阜、市民健康センター職員らで構成される「子育て支援地域連携会議」に参加し、子育てに関する情報、虐待などの</li> </ul>		

諸問題を共有するためのネットワークの構築がなされている。		
改善できる点/改善方法：		
Ⅱ－４－（３） 地域の福祉向上のための取組を行っている。		第三者評価結果
	Ⅱ－４－（３）－① 地域の福祉ニーズを把握している。	㊤・B・C
	Ⅱ－４－（３）－② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	㊤・B・C
良い点/工夫されている点： <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の児童センターの発行しているお便りや園庭開放、一時保育・障がい児保育・延長保育などを通して、地域福祉向上のための取組みがなされている。</li> <li>・生活発表会・運動会等の行事の機会を通じてアンケート調査を実施するなど、保育・子育て・福祉ニーズに基づいた具体的な事業活動が展開されている。</li> </ul>		
改善できる点/改善方法：		

### 評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

#### Ⅲ－１ 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ－１－（１） 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		第三者評価結果
	Ⅲ－１－（１）－① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	㊤・B・C
	Ⅲ－１－（１）－② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	㊤・B・C
良い点/工夫されている点： <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの人権擁護について、職員一人ひとりが児童憲章や保育士倫理綱領をもとに、適切な対応ができるよう園内研修等の取組みを行っている。</li> <li>・プライバシー保護についてのマニュアルを整備し、園内研修を通して周知徹底を図っている。</li> <li>・子どもと保護者のプライバシーに関する案件については、その都度、職員会議で話し合い、適切な対応ができるよう取組んでいる。</li> </ul>		
改善できる点/改善方法：		
Ⅲ－１－（２） 利用者満足の向上に努めている。		
	Ⅲ－１－（２）－① 利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取組	㊤・B・C

	を行っている。	
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会・保育参加・夕涼み会・生活発表会などの行事の際、保護者からのアンケート調査を実施し、その意向を聞き取っている。必要があれば、職員会で検討し、その都度改善を図っている。アンケートの意見に対する施設の回答・意見は、「園だより」に掲載して報告している。</li> </ul>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ－１－（３） 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
	Ⅲ－１－（３）－① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している	㊤・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－１－（３）－② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	Ａ・㊤・Ｃ
	Ⅲ－１－（３）－③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	㊤・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初に意見箱を設置して、相談・意見・苦情等を受け付ける窓口があることを紹介している。</li> <li>・苦情解決の仕組みは、苦情受付担当者・苦情受付責任者・第三者委員を設置した解決のプロセスを明示し、玄関ホールに掲示されている。</li> <li>・対応マニュアルが整備され、迅速に対応している。寄せられた意見に対しては、職員会議の場で話し合い改善に努めている。</li> </ul>		
改善できる点／改善方法：		

### Ⅲ－２ サービスの質の確保

Ⅲ－２－（１） 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。		第三者評価結果
	Ⅲ－２－（１）－① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	㊤・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－２－（１）－② 評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	㊤・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の第三者評価を受審に際しては、園長以下全職員が綿密な作業計画を策定して自己評価が行われた。自己評価を行う段階で、マニュアルなどの見直し作業が並行して進められ、改善策・改善実施計画が策定されている。</li> </ul>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ－２－（２） 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。		第三者評価結果



	Ⅲ-2-(2)-① 提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	㊤・B・C
	Ⅲ-2-(2)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	㊤・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サービスの標準的な実施方法について、個々のサービスに対応したマニュアルが整備され、職員全員が携帯し周知が図られている。</li> <li>保育所保育指針をもとに保育課程が策定され、子どもの発達を踏まえた個別の指導計画（年間・月案・週案）の策定・見直しが行われている。月案は月1回、週案も、随時見直しが行われている。</li> </ul>		
改善できる点/改善方法：		
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		
	Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関するサービスの実施状況の記録が適切に行われている。	㊤・B・C
	Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	㊤・B・C
	Ⅲ-2-(3)-③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	㊤・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童票・生活状況の経過・健康診断記録・保育記録等の個別記録には、子ども一人ひとりの発達状況や生活状況を詳細に記録し、評価・課題分析が行われ、翌月の計画に繋げている。</li> <li>記録は、厳重に保管されている。守秘義務については、プライバシー保護マニュアルが整備され、職員会議・園内研修などで全職員に周知徹底されている。一人ひとりの子どもの状況については、定期的にケース会議が開かれ、支援のあり方を話し合い、全職員の周知を図っている。</li> </ul>		
改善できる点/改善方法：		

### Ⅲ-3 サービスの開始・継続

Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	第三者評価結果	
	Ⅲ-3-(1)-① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	㊤・B・C
	Ⅲ-3-(1)-② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	㊤・B・C

<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入所希望者に対しては、パンフレット「保育園生活について」を配布して説明している。また、ホームページのデータを毎月更新し、月々の新しい情報が提供されている。</li> <li>・見学者や体験利用者には、資料を配り分かりやすく説明している。保護者には、新入園児健康診断時や入園式で説明して同意を得ている。</li> </ul>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>Ⅲ－３－（２） サービスの継続性に配慮した対応が行われている。</p>	
<p>Ⅲ－３－（２）－① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の保育所・園、認定保育園へ転園する場合は、保育の継続性に配慮して、各種記録を送付している。就学時には、入学する小学校へ保育児童要録を作成して送付している。</li> </ul>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

#### Ⅲ－４ サービス実施計画の策定

<p>Ⅲ－４－（１） 利用者のアセスメントが行われている。</p>		<p>第三者評価結果</p>
<p>Ⅲ－４－（１）－① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。</p>		<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>利用者のアセスメントは、統一した様式で、定められた手順に従い記入されている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
<p>Ⅲ－４－（２） 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。</p>		
<p>Ⅲ－４－（２）－① サービス実施計画を適切に策定している。</p>		<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>Ⅲ－４－（２）－② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。</p>		<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメントに基づき、子ども一人ひとりのニーズや課題を明確にして指導計画を作成している。評価・見直しは、毎月、クラスごとに保育士間で話し合いを行い、指導計画を作成している。</li> </ul>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

(別紙)

評価細目の第三者評価結果  
(児童分野 保育所)

評価対象Ⅳ 保育所保育の基本

Ⅳ－１ 養護と教育の一体的展開

	第三者評価結果
Ⅳ－１－（１）保育所の保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。	A・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童憲章、児童福祉法に基づき、“子どもの最善の利益”を考慮した法人の理念、園の基本方針や保育目標が定められている。保育課程は、子どもの心身の発達や保護者のニーズを考慮して作成されている。</li> </ul>	
<p>改善できる点／改善方法：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育課程の策定に当たっては、職員の参画のもと、定期的な見直しと改善を進めることが期待される。</li> </ul>	
Ⅳ－１－（２）乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	A・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育室は明るく温かな雰囲気、看護師も配置され、専門性を生かした支援が行われている。安全面・衛生面にも配慮され、午睡チェック表・連絡帳により保護者との連携もとられ、子どもが安心して人や物と関われる環境にある。</li> </ul>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
Ⅳ－１－（３）１・２歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	A・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが遊びを中心とした自発的な活動ができるよう、身近なところに玩具や絵本が配置されている。送迎時の話し合いや連絡帳で、子どもの様子を保護者が把握できるよう配慮されている。</li> <li>・フローリング転倒防止のため、年間を通して素足で過ごしている。</li> </ul>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
Ⅳ－１－（４）３歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	A・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動きが活発になる以上児には、子どもの年齢・成長・季節に合わせた指導計画が立案されている。室内の壁面には、ひな人形などの作品が展示されている。子どもが遊びやすいよう、保育士が距離を置いて子どもたちを見守っている。</li> </ul>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
Ⅳ－１－（５）小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されている。	A・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校に隣接しており、連携が深い。月案には、アプローチプログラムが盛り込まれている。卒園児の通学途中の立ち寄り、卒園児の授業参観や小学校の先生と懇談、交流の場も設けられている。</li> </ul>	

改善できる点／改善方法：

IV-2 環境を通して行う保育

	第三者評価結果
IV-2-(1) 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちが活発に心地よく遊べるよう「安全チェック表」による点検やエアコン・加湿器による室温調整、衛生面にも配慮がなされている。保育士が、一人ひとりの特性を把握し、子どもが不安になったときは、いつでも応じられるようにしている。</li> <li>園庭には、雲梯・鉄棒・砂場・大型総合遊具施設などが備えられ、夏場は、取り外しのできる大型プールが園庭西側に設置される。園庭遊びには、衝突等の事故防止のため、未満児と以上児の時間差を設けて利用するよう工夫されている。</li> </ul>	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(2) 子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣を身につけさせるため、個人差を考慮して、一人ひとりのリズムを把握しながら対応している。遊具や用具は、子どもの取り出しやすい場所に置かれ、運動遊びを楽しむことができるように工夫されている。</li> <li>保育室は南向きで、1階にベランダがあり、フェンス越しに園庭がある。朝の体操は、0・1歳の幼児はベランダに出て、以上児の動作を見よう見まねで体操している風景は微笑ましかった。</li> </ul>	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(3) 子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>以上児は、年齢ごとの1クラス編成で、「ぶどう」「みかん」「りんご」の3クラスに分けての異年齢保育が定期的実施されている。</li> <li>異年齢児と一緒に過ごす中で、“思いやり、いたわり、憧れの気持ち“が育っている。また、年長児が、2歳児クラスへ着替えのお手伝いに行ったりして、優しく接する姿が見られ、とても良い交流の場になっている。</li> <li>4歳・5歳児の当番活動は、給食当番・掃除当番・体操当番など、子どもたちに主体性を持たせている。</li> </ul>	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(4) 子どもが主体的に身近な自然や社会とかがかわれるような人的・物的環境が整備されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>近くの公園に出かけ、木の枝、落ち葉などの自然物を使ってクリスマスリース作りをしている。遠隔地にある農園でのさつまいも・じゃがいも堀りは、公共交通機関を利用するなど、身近な自然や社会との関わりを持つようにしている。</li> </ul>	
改善できる点／改善方法：	

IV-2-(5) 子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。	Ⓐ・B・C
良い点／工夫されている点： ・毎年開催されている地域の文化祭の作品展には、以上児全員で製作した作品が展示されている。 また、老人会との交流や高齢者施設（サービス）訪問では、歌や踊りを披露している。	
改善できる点／改善方法：	

#### IV-3 職員の資質向上

IV-3-(1) 保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。	第三者評価結果
	Ⓐ・B・C
良い点／工夫されている点： ・「自己評価ガイドライン」に基づいて、定期的に自己評価が行われている。行事の後には、職員会で話し合いの場を設け、積極的に保育の改善に努めている。	
改善できる点／改善方法：	

#### 評価対象V 子どもの生活と発達

##### V-1 生活と発達の連続性

V-1-(1) 子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。	第三者評価結果
	Ⓐ・B・C
良い点／工夫されている点： ・保育士は、子ども一人ひとりの成育状況、性格・特質などを把握して、子どもたちに寄り添い、子どもたちが自主的に活動できるような働きかけや援助を行っている。	
改善できる点／改善方法：	
V-1-(2) 障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	Ⓐ・B・C
良い点／工夫されている点： ・個別支援計画の作成と個別指導により、子どもが安心して過ごせる環境づくりがなされている。 また、個別指導計画を共通理解するため、職員会議で話し合いがなされている。 ・障がい児担当保育士は、障がい児研修を受講し、研修報告を行っている。	
改善できる点／改善方法：	
V-1-(3) 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	Ⓐ・B・C
良い点／工夫されている点： ・子どもが安心して過ごせるよう、子どもの楽しめる遊びを用意している。戸外に出掛けたときは、異年齢同士が関わって遊べるよう異年齢保育が意図的に取り入れられている。	
改善できる点／改善方法：	

V-2 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場

V-2-(1) 子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	第三者評価結果 Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年間保健安全計画を作成し、毎月の「なかよし会」で健康に関することを子どもと一緒に考え、確認している。家庭調査票をもとに、既往症・予防接種・乳幼児健診の把握に努め、必要に応じ全職員に周知している。</li> </ul>	
改善できる点/改善方法：	
V-2-(2) 食事を楽しむことができる工夫をしている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子ども一人ひとりの喫食状況を把握し、給食室とも連携して、食べたいもの好きなものが食べられるよう調理の工夫がなされている。子どもたちが栽培した野菜類を給食に取り入れ、食生活に関心を持つようにしている。</li> </ul>	
改善できる点/改善方法：	
V-2-(3) 乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>食材の切り方など、一人ひとりの発育状況や体調を考慮して調理している。手作りのおやつが、常時、考案されている。</li> </ul>	
改善できる点/改善方法：	
V-2-(4) 健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康診断結果は、保護者及び職員に周知し、保育計画に反映している。</li> </ul>	
改善できる点/改善方法：	

V-3 健康及び安全の実施体制

V-3-(1) アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	第三者評価結果 Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アレルギー児、食物アレルギー児に対しては、マニュアルに沿って毎月の個別検討会を実施し、適切に対応している。</li> </ul>	
改善できる点/改善方法：	
V-3-(2) 調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。	Ⓐ・B・C

<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育所給食衛生マニュアルに沿って、安心安全な給食の提供がなされている。日常の衛生管理のチェックも実施されている。</li> </ul>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

評価対象Ⅵ 保護者に対する支援

Ⅵ-1 家庭との緊密な連携

	第三者評価結果
Ⅵ-1-(1) 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食育だよりの発行、展示食の提示、レシピの配布などを通じて、保護者が食育に関心を持てるような取組みがなされている。</li> <li>・ 食育の一環として、「お店屋さんごっこ」の中で、食材やレシピを保護者に配布するなどして、子どもの食生活を充実させるための家庭との連携が図られている。</li> </ul>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
Ⅵ-1-(2) 家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。	A・ⓑ・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年1～2回の個別懇談会のほか、連絡帳への記載、保育園玄関先の掲示板など、日常的な情報交換が行われている。</li> </ul>	
<p>改善できる点／改善方法：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 送迎時の対話などのコミュニケーションの密度を濃くして、保護者との信頼関係の構築に努められたい。</li> </ul>	
Ⅵ-1-(3) 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入園式・保育参加・クラス懇談会・発表会や毎月の保育園だより・クラスだよりを通じて、保育の意図を伝えるなど、子どもの発達や育児などについて情報伝達が適切に行われている。</li> </ul>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
Ⅵ-1-(4) 虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎月の職員会で、“ケース検討”が行われている。虐待予防チェックシートを活用して、不適切な養育の早期発見に努力がなされている。</li> <li>・ “何日も風呂に入っていない” “食事を摂っていない” など、虐待を疑わせるような兆候・事例が散見され、職員間での情報交換もなされている。</li> </ul>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

評価対象Ⅷ 個別サービス着眼点（岐阜県独自項目）

Ⅶ-1 安全管理面でのサービス

	第三者評価結果
Ⅶ-1-(1) 外部からの侵入に対する対応策がとられている。	A・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>不審者侵入時の対応要領などフローチャート図が作成され、園児を交えた訓練が定期的実施されている。刺股が配備されているほか、ホイッスルを全職員に携帯させるなどして、その対応策が講じられている。</li> </ul>	
<p>改善できる点／改善方法：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保護者を対象にしたアンケート調査の中で、不審者侵入防止対策の不備を指摘する意見があった。正面出入り口扉の改良、インターホン設置など、設備の改修を望む声も認められた。</li> </ul>	

Ⅶ-2 保護者とのコミュニケーション

	第三者評価結果
Ⅶ-2-(1) 保護者の保育参加を促すような工夫をしている。	A・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年間行事予定表の配布のほか、保育参観や個別懇談会を通じて、保護者とのコミュニケーションが図られている。参加できなかった保護者に対しては、連絡帳の記載などにより、その補完措置がとられている。</li> </ul>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
Ⅶ-2-(2) 保護者会組織等への活動の援助や意見交換を行っている。	A・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保護者会が組織され、会長・副会長・書記・会計などの役員が保育園と連携して各種行事に参画している。「積み木ワークショップ」「人形劇」など、保護者会の自主的な活動が展開されている。</li> </ul>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

Ⅶ-3 保育所・幼稚園・小学校との連携

	第三者評価結果
Ⅶ-3-(1) 保育所・幼稚園・小学校との連携した取組を行っている。	A・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「幼保小連絡会議」や研修会での交流がある。小学校とは隣接しており、卒園児の授業参観、一年生や小学校先生との意見交換などの交流が行われている。</li> </ul>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	